

屋外分煙施設の類型について

開放系と閉鎖系に大別される

開放系(左) 屋根のみ、囲いのみなど

閉鎖系(右) 屋根と壁で囲われ、屋内の空気を屋外に排気



屋外喫煙所の主な施設構造

職場の受動喫煙防止対策に係る技術的留意事項に関する専門家検討会報告書(H27年5月)より

- 外から内部が見えること
 - 火災予防対策や労務管理のため
- 天井(屋根)、壁の構造及び屋外排気装置
 - たばこ煙を建物とは反対側に逃がす構造(解放系、閉鎖系共通)
- 喫煙室の考え方の準用(閉鎖系)
 - 壁の素材、屋外排気、機器のメンテナンス
- 喫煙室の利用人数、面積
 - 喫煙室の床面積や容積に配慮が必要。必要排気量に留意

図1：天井部分の傾斜について

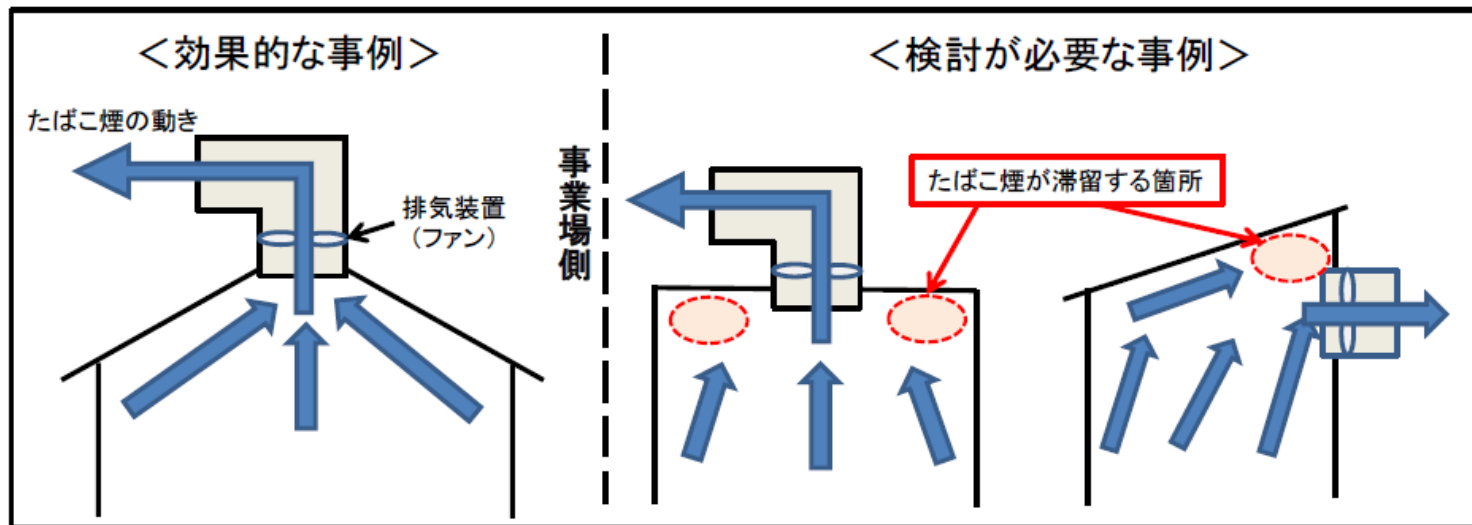


図2：壁の上部と下部に開口面を作った事例

